

# 遠賀町子ども・子育て支援事業計画 進捗状況

平成31年 4月

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					●(検討)・○(実施) →(継続)・◎(完了)	主管課
				27	28	29	30	31		
1 子どもの健やかな育ちを守ります										
(1) 子どもの健康の保持・増進										
①乳幼児健康診査	<p><b>【現状】</b> 乳幼児の健康の保持増進を図るため、乳児(4・5か月児、9・10か月児)、1歳6か月児及び3歳児を対象とした健康診査のほか、2歳児歯科相談を実施しています。</p> <p><b>【課題】</b> 就労する母親が増え、全体的に目標受診率に達していない状況のため、待ち時間の短縮や内容の充実が必要です。</p>	<p>未受診者の勧奨を継続し、受診率の向上に努めます。また、健診の内容や流れも考慮し、待ち時間の保護者の負担を減らす工夫も行っていきます。</p> <p><b>【評価指標と数値目標】</b> 乳児・1歳6か月児健診の受診率 92% 3歳児健診の受診率 90%</p>	<p>4・5か月児健診は94.2% 9・10か月児健診は97.7% 1歳6か月児健診は93.9% 3歳児健診は95.4% 未受診者は訪問し、できるだけ面接しています。</p>	○	→	→	→		健康こども課 (健康対策係)	
②予防接種	<p><b>【現状】</b> 四種混合、日本脳炎等、予防接種法に基づき定期予防接種を実施しています。ただし、子宮頸がんワクチンは重大な副作用のおそれが指摘され、平成25年6月から積極的勧奨を控えています。</p> <p><b>【課題】</b> 予防接種法に基づき、接種対象期間が定められているため、対象者への周知に務める必要があります。</p>	<p>すべての子どもが計画的な予防接種によって疾病を免れるよう、正確でわかりやすい情報を伝えていきます。また、乳幼児健診や相談時に接種勧奨を行い、接種率の向上に努めます。</p> <p><b>【評価指標と数値目標】</b> BCGの接種率 100% 麻疹・風しん混合の接種率 98%</p>	<p>乳幼児健診等で接種状況を把握して接種勧奨をしています。 平成30年度の接種率 (3月分が一部未請求) BCG 92.9% 麻疹・風しん 1期 102.7% 2期 94.3%</p> <p>(予防接種の対象者は管内統一して、10月1日の人口で計算しており、それ以外の人が多く受けると100%を超える)</p>	○	→	→	→		健康こども課 (健康対策係)	

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課	
				●(検討)・○(実施) →(継続)・◎(完了)						
				27	28	29	30	31		
1 子どもの健やかな育ちを守ります										
③小児医療体制の充実	<p><b>【現状】</b> 平日昼間における小児科を標榜する医療機関が3か所あり、郡内でも充実した医療環境が整っています。</p> <p><b>【課題】</b> 平日夜間や休日診療などの部分で、小児救急医療のさらなる充実を図る必要があります。また、毎日夜間に開設している「福岡県小児救急医療電話相談」について、周知に努める必要があります。</p>	<p>救急医療は広域的な取り組みが必要なため、福岡県及び遠賀中間医師会との連携により、救急医療体制の充実に努めます。また、「遠賀・中間休日急病センター」や「福岡県小児救急医療電話相談」等の周知と、その活用の促進を図ります。</p>	<p>広報の折り込みで、全戸配布している、親子の教室相談日カレンダーに掲載して周知しています。 赤ちゃん訪問でも周知しています。</p>	○	→	→	→		健康こども課 (健康対策係)	
④食育の推進	<p><b>【現状】</b> プレママ教室や乳幼児健診、すくすくひろば、すくすくクッキングなどあらゆる機会での栄養士による講話や相談を行っています。</p> <p><b>【課題】</b> のびのびクッキングでの、偏食やアレルギーなどの悩みを抱えた母親に対する、個別相談等の検討が必要です。</p>	<p>乳児期に食の基本を学習してもらうため、すくすくクッキングの充実を図ります。また事業内容の充実を図るとともに、家族で食育を考えるための情報提供に努めます。</p> <p><b>【評価指標と数値目標】</b> すくすくクッキングの参加者数 50組 朝食を毎日食べる就学前児童の割合 100% 朝食を毎日食べる小学生の割合 100%</p>	<p>平成30年度のすくすくクッキング参加者数は51組 広報や4か月健診での勧奨や、すくすくひろばで離乳食に悩んでいる参加者を誘います。 のびのびクッキングは個別相談を中心に、必要なお子さんには訪問や他の事業での相談で対応していくため、廃止しています。 すくすくクッキングは平成29年度から①開始期中心②ステップアップ時期中心の2つに分け、教室の充実を図りました。</p>	○	→	→	→		健康こども課 (健康対策係)	

# 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課		
				●(検討) →(継続)	○(実施)	○(完了)	○(完了)	○(完了)			
				27	28	29	30	31			
1 子どもの健やかな育ちを守ります											
(2) 子どもの人権擁護											
① 子どもの人権に関する意識啓発	<p><b>【現状】</b> こどもまつりでの子どもの人権についての啓発や、幼稚園と3保育園輪番で実施する「人権のつどい」、人権啓発冊子「みんなのねがい」の全戸配布をなど、人権についての啓発活動を行っています。 また、小学3年生を対象に3小学校輪番で「人権の花ひまわり」運動を実施しています。</p> <p><b>【課題】</b> 平成25年度人権意識調査において、「子どもの権利条約」の内容を知っている町民の割合は14.7%であり、今後啓発活動を進め、子どもの人権に関する意識を高める必要があります。</p>	<p>こどもまつりでの啓発、「人権の花ひまわり」運動、「人権のつどい」、人権作品の作成、人権啓発冊子の配布、人権講演会の開催等により子どもの人権に関する意識啓発を行っています。</p> <p>&lt;評価指標&gt; 「子どもの権利条約」の内容を知っている町民の割合 &lt;数値目標&gt; 30%</p>	<p>こどもまつりで人権擁護委員と一緒に子どもの人権について啓発を行いました。 人権意識の高揚を目的に、各学年、学習にあわせて人権作品への取組を実施し、多くの作品を出品しています。また、その作品を人権週間に中央公民館に展示しました。 島門小学校3年生を対象に「人権の花ひまわり」運動を実施し、児童の人権意識向上の取組を行いました。(児童90人) 人権啓発冊子「みんなのねがい」に人権作品を掲載し啓発を行いました。(2/25号広報で全戸配付) 山びこ保育園で「人権のつどい」を実施しました。(園児158人) 「子どもの人権」をテーマに人権コラムを掲載しました。</p>	○	→	→	→				福祉課 (福祉人権係)  学校教育課 (学校教育係)
② 児童虐待の防止と早期対応	<p><b>【現状】</b> 「要保護児童対策地域協議会」を通して、児童相談所や学校、警察など各機関との情報共有と連携を図り、児童虐待防止に努めています。また、平成23年度から「はじめのはじめのいっぽセミナー」を年間3回実施しています。</p> <p><b>【課題】</b> 虐待に遭っている子どもの早期発見に努める必要があります。</p>	<p>要保護児童対策地域協議会の活動を軸に、情報の共有と関係機関との連携を図り、組織的かつ専門的対応の徹底と関係者の資質向上に努めます。また、妊娠届提出時や健診時において、虐待リスクの早期発見・早期対応に努めます。 「はじめのはじめのいっぽセミナー」については、今後も継続して実施します。</p>	<p>教育相談員・指導主事2名を週3日配置、スクールソーシャルワーカーを各中学校区に1名(各校区4時間/週)配置し、学校・各関係機関等と連携を図りながら相談・対応に努めました。</p> <p>はじめのはじめのいっぽセミナーについては、年4回実施し、初めての子育てに対しての不安軽減を図りました。 平成30年度受講者:62人(32組)</p>	○	→	→	→				健康こども課 (子育て支援係) (健康対策係)  学校教育課 (学校教育係)

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課
				●(検討)・○(実施) →(継続)・◎(完了)	27	28	29	30	
1 子どもの健やかな育ちを守ります									
(3)教育・保育の充実									
①就学前教育・保育の基盤強化と質の確保	<p><b>【現状】</b> 町が実施主体となり、計画的に幼児期の学校教育・保育、地域子ども・子育て支援を提供しています。</p> <p><b>【課題】</b> 就学前教育・保育にかかる需要動向などを踏まえながら、計画的な保育の量の確保が必要です。</p>	<p>必要な教育・保育資源の適正配置を行うとともに、量の確保を計画的に進めます。また、子どもの預け先に関する保護者の相談に応じ、幼稚園や保育所、一時預かり等の情報を提供します。</p> <p>さらに、町内有資格者の登録バンクを創設し、保育士の安定確保を図ります。</p> <p><b>【評価指標と数値目標】</b> 保育所定員 395人 幼稚園定員 252人</p>	<p>町内在住の保育士有資格者に対し、遠賀町保育士等人材バンクについて周知し、登録を呼びかけました。</p> <p>幼稚園就園奨励費補助金については、継続実施。また、保育所等の一時預かりも引き続き実施してもらい、保護者のニーズに対応しています。</p> <p>(平成30年度) 保育所等定員 425人 幼稚園定員 240人</p>	○	→	→	→		健康こども課 (子育て支援係)
②ブックスタート・読み聞かせ	<p><b>【現状】</b> 9か月健診時の奇数月に絵本を配布しています。また「おはなし会」、赤ちゃん向けの「おはなし会0・1・2」を実施しています。</p> <p><b>【課題】</b> 1才半健診時のアンケートでは、9カ月で絵本を見せたりする家庭が大半であることがわかり、早期配布の検討が必要です。</p>	<p>ブックスタートと赤ちゃん向けの「おはなし会0・1・2」については実施を継続するとともに、成長に合わせた本を選んでいただくための支援を充実させていきます。また、幼児から小学校低学年向けの「おはなし会」については、毎年度取り組みに新たな工夫や試みを加え、事業の充実を図ります。</p> <p><b>【評価指標と数値目標】</b> おはなし会参加者数 820人</p>	<p>読み聞かせボランティアの方の意見も集約し、絵本の配布を9ヶ月検診から4ヶ月検診へ移行しました。</p> <p>(平成30年度4～3月分参加者) ・おはなし会:436人 ・おはなし会0・1・2:184人</p>	●	○	→	→		生涯学習課 (社会教育係)

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					●(検討)・○(実施) →(継続)・◎(完了)	主管課
				27	28	29	30	31		
<b>1 子どもの健やかな育ちを守ります</b>										
③学校教育の環境や学習内容の充実	<p><b>【現状】</b> 町・教育事務所・県教育庁が主催する研修等に、経験年数や役職に応じて、積極的に参加しています。 また、インターネット環境の整備や財務システムの整備等の環境改善に取り組んでいます。</p> <p><b>【課題】</b> 研修の増加は児童生徒との交流の時間の縮減や教職員の超過勤務の増大につながることから、時間数を増やすのではなく、内容の充実が必要です。</p>	<p>児童生徒に「生きる力」を育むことを目指して、創意工夫を活かした特色ある教育活動を展開するよう努めます。 また、教職員に対する今日的課題に関する研修を適宜、適切に開催することにより、教職員の資質の向上を図ります。 さらに、ICT(情報通信技術)機器の更新及び拡張整備など、環境改善にも取り組みます。</p>	<p>教職員の負担軽減、教育環境の充実を図るため、用務補助員・特別支援教育支援員を各小中学校に配置し、教職員のサポートを行いました。 平成30年度は、校務用パソコンの整備・パソコン教室機器更新に向けて検討を行いました。</p>	○	→	→	→		学校教育課 (学校教育係)	
④様々な体験や活動を通じた学ぶ場の充実	<p><b>【現状】</b> 小学校4～6年生を対象に、年4回の通学合宿(生活体験学習)を実施しています。 また、自然体験の不足を補う事業として、国立青少年自然の家を利用した、自然体験教室を年2回実施しています。</p> <p><b>【課題】</b> 近年、男子の参加者が減少しており、さらに小学校により参加者の偏りも見受けられます。 また、男性のボランティアスタッフが不足しています。</p>	<p>平成28年度より、ポスターを作成し、各小中学校に掲示してもらって周知します。また、各回終了後には、広報に掲載して周知を図っていきます。</p> <p><b>【評価指標と数値目標】</b> 通学合宿 80人 (平成28年度より年3回にしたため、目標を60人に変更)</p>	<p>通学合宿は、ボランティアの協力を受けながら3回開催し、規則正しい生活習慣をつくるきっかけとしました。 参加人数のべ63人(うち男子は32人) 自然体験教室は、福岡県立社会教育総合センターを利用して、1泊2日の行程でハイキングや野外調理等の自然体験活動を実施しました。 参加人数22人(うち男子は7人) できるだけ多くの児童が体験学習に参加できるように参加回数を配慮しています。 新規の男性ボランティアとして4名の登録がありましたが、更新されない方もおり、男性ボランティア登録者は3名減の23名となりました。 3小学校合同の2泊3日の5年生宿泊体験学習、2泊3日の中学校1年生ふれあい学級を行い、集団生活のあり方を学ぶとともに、児童・生徒・教職員間の交流を深めました。</p>	○	→	→	→		学校教育課 (学校教育係)  生涯学習課 (社会教育係)	

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					●(検討)・○(実施) →(継続)・◎(完了)	主管課
				27	28	29	30	31		
1 子どもの健やかな育ちを守ります										
⑤スポーツ活動の振興	<p><b>【現状】</b> ソフトボール、バレーボール、サッカーなどの競技種目を中心に、スポーツ少年団の活動が展開されています。また、スポーツ推進委員の指導によるスポーツ教室開催や、出前講座を行っています。</p> <p><b>【課題】</b> スポーツ教室開催や出前講座の周知に努める必要があります。</p>	<p>遠賀町体育協会による柔道、剣道、サッカー等の大会の開催を継続して支援します。また、総合型地域スポーツクラブ「おんがみんスポクラブ」と連携しながら、幼児・児童がスポーツに興味・関心を持つきっかけ作りに努めます。</p>	<p>遠賀町体育協会による大会の開催を、補助金交付により支援しました。</p> <p>「おんがみんスポクラブ」では、チラシを小学校や町のイベント時に配布する等会員増加に努めました。また、スポーツ推進委員の指導によるニュースポーツ教室開催(年1回:ペタンク、バッコウなど)や、ニュースポーツの出前講座(遠賀中学校PTA:ビーチボールバレー、卓球バレー、ペタンク)を行いました。子どもまつりでのニュースポーツ体験(ペタンク)は、例年に引き続き実施しています。</p>	○	→	→	→		生涯学習課 (スポーツ文化係)	
⑥思春期保健の充実	<p><b>【現状】</b> 幼児との交流を通じた生命を大切にする教育や子どもの発達段階に応じた性教育等が行われています。また、教育相談員やスクールカウンセラーを配置し、相談に応じています。</p> <p><b>【課題】</b> 家庭、学校、地域等が連携して性教育や思春期健康教育の充実を図るとともに、周囲の大人が子どもをサポートできる体制づくりを強化する必要があります。</p>	<p>子どもの発達段階に応じた指導計画を作成し、性教育の充実を図ります。</p> <p>さらに、学校における保健指導を充実させ、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止教育等、保健教育の充実を図ります。</p> <p>また、思春期の心の問題に対応できる専門的な知識や技術を持った担当者の確保を図るとともに、関係機関の連携強化を図ります。</p>	<p>小学校では、養護教諭が中心に、6年間の系統性を持たせた性教育を実施しています。</p> <p>中学校では、保健体育の授業を活用して実施しています。また、外部講師による性教育の講演会を、各学年ごとに適したテーマで年1回実施しました。</p>	○	→	→	→		学校教育課 (学校教育係)	

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					●(検討)・○(実施) →(継続)・◎(完了)	主管課
				27	28	29	30	31		
1 子どもの健やかな育ちを守ります										
(4) 障害児施策の充実										
①療育相談支援体制の充実	<p><b>【現状】</b> 臨床心理士による「ことばと心の相談」や小集団での療育教室「なのはなる一む」を運営しています。</p> <p><b>【課題】</b> どの施設に関しても対象者や希望者が増えており、必要な回数の療育が受けられる体制を検討する必要があります。</p>	<p>「ことばと心の相談」「なのはなる一む」をそれぞれ毎月実施するなどの充実を図ります。</p> <p>療育が必要な障害児については、適切な相談・サービスが受けられるように、一人ひとりの状態にあった障害児支援利用計画を作成します。</p>	<p>療育が必要な障がい児については、適切な相談・サービスが受けられるように、一人ひとりの状態にあった障害児支援利用計画を作成しています。(H31.3月現在100%作成)</p> <p>H31.3月現在町内4事業所で障害児相談支援事業を実施しています。</p> <p>ことばと心の相談・なのはなる一むは毎月実施しています。臨床心理士の相談では、毎月3～5件の相談を受けています。</p> <p>なのはなる一むは実人数16人、延べ人数59人で毎月実施することで、継続した参加につながっています。</p>	○	→	→	→			健康こども課 (健康対策係)  福祉課 (障がい者支援係)
②障害児教育・保育の充実	<p><b>【現状】</b> 小中連携特別支援教育部会を設置し、町内の全小中学校における支援体制の整備を図っています。また特別支援学級においては、児童等のニーズに応じた教育活動に取り組んでいます。すべての保育園・幼稚園・学童保育で障害児の受け入れを行っています。</p> <p><b>【課題】</b> 保育・教育・療育の連携と情報の共有化における一貫した障害児支援の充実が必要です。</p>	<p>「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」をたて、その計画の実施・評価ができる体制の整備を図ります。</p> <p>また、障害種別の多様化に対応できる体制を充実させるとともに、全教職員に対して特別支援教育に関する研修会等への参加を促進し、教職員の指導力の向上を目指します。</p> <p>障害児学童「にこにこクラブ」の土曜開設や送迎等の事業の実施を検討します。</p> <p>さらに、障害児相談支援事業所の相談支援専門員を中心に関係機関による個別会議を開催し、障害児支援の充実を図ります。</p>	<p>特別支援型子育て支援施設にこにこクラブは、平成30年4月に放課後等デイサービス事業所として開設しました。相談支援事業所などによる、担当者会議等を経て作成される障害児支援利用計画(案)をもとに、支援事業の支給決定を行い、適切なサービスにつなげています。(H31.3月現在100%作成)</p> <p>特別支援学級に特別支援教育支援員(H30年度13名(小学校:10名・中学校:3名)を配置しました。また、通常学級に在籍している支援が必要な児童生徒の「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の作成率の向上に努めるとともに、通級指導教室を遠賀中学校に設置し、通常学級に在籍する児童生徒の支援を行いました。(H30年度2名在籍:遠中1名・南中1名)</p>	○	→	→	→			学校教育課 (学校教育係)  福祉課 (障がい者支援係)  健康こども課 (子育て支援係)



基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課
				27	28	29	30	31	

2 子育てを通じた親としての成長を支えます

(1) 母子保健の充実

<p>①母子健康手帳の交付と妊婦健康診査</p>	<p>【現状】 母子健康手帳と併せて父子健康手帳の配布を行っています。その際、必要に応じ保健師による健康相談も行っています。また妊婦健康診査について14回分の補助券を発行しています。 【課題】 食生活を始め、生活習慣の変化により、増えている低出生体重児の増加を防ぐため、母子健康手帳交付時の保健指導の充実を図る必要があります。</p>	<p>母子健康手帳の交付と父子健康手帳の交付を併せて行うとともに、妊婦健康診査による妊娠中の母体及び胎児の健康確保を支援していきます。</p>	<p>妊婦健康診査は14回分の補助券発行を継続します。 H30年度母子健康手帳交付数 131人</p>	○	→	→	→			健康こども課 (健康対策係)
<p>②プレママ、プレパパママ教室</p>	<p>【現状】 プレママ教室、プレパパママ教室をともに年3回ずつ実施し、プレママ教室では管理栄養士による講話や栄養相談を取り入れ、内容を拡充して行っています。プレパパママ教室は父親も参加しやすいよう日曜日に開催しています。 【課題】 参加者が減少傾向にあるため、今以上に教室の周知を行う必要があります。</p>	<p>全妊婦に教室の通知を出し、加えて個別の電話相談も継続し、安心して出産子育てに臨めるよう支援し、参加者の増加にも努めます。また、参加者の意見も聞きながら教室の内容を見直し、より充実した教室になるよう改善していきます。 【評価指標と数値目標】 プレママ教室参加者数 20人 プレパパママ教室参加者数 25組</p>	<p>プレパパママ教室を年3回日曜日に実施しました。助産師、管理栄養士、保健師による講話と相談、沐浴の実習を行っています。平成30年度のプレパパママ教室の参加者数29組58人 (プレママ教室は、平成28年度から廃止)</p>	○	→	→	→			健康こども課 (健康対策係)

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課
				27	28	29	30	31	
2 子育てを通じた親としての成長を支えます									
③妊産婦・新生児訪問	<p>【現状】 すべての出生児を対象に、全戸訪問を実施しています。未訪問対象者には、電話などで育児や発育の状況などを確認しています。</p> <p>【課題】 今後も引き続き、長期里帰り等で訪問できないケースも、電話やすくすくひろば等で状況を把握していく必要があります。</p>	<p>今後も適当な時期に訪問を行い育児不安の軽減に努め、訪問率100%を目指します。また、サポートアンケート等から支援が必要と思われる妊婦への訪問も継続していきます。</p> <p>【評価指標と数値目標】 新生児訪問率 100%</p>	<p>助産師、保健師による全戸訪問を実施し、平成30年度は訪問率97.6%でした。未訪問者3件のうち、1件は入院中、2件は相談日で面談しています。母子健康手帳交付時のサポートアンケート等を参考に訪問、支援しています。</p> <p>町外に里帰り中の希望者にも里帰り先の自治体に依頼し、対応しています。</p>	○	→	→	→		健康こども課 (健康対策係)

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課
				27	28	29	30	31	
2 子育てを通じた親としての成長を支えます									
(2) 相談支援体制の充実									
①子育て支援拠点 「ぐっぴい」	<p>【現状】 ふれあいの里で週4日実施しており、プール遊び・親子ヨガ教室・おやつ作り教室なども行っています。また中央公民館で「ぐっぴい」の出張ひろば「おでかけぐっぴい」も週1回開催しています。</p> <p>【課題】 今後も利用意向は高いと考えられるため、受入定員数の設定や実施日の拡大等が必要です。</p>	<p>利用状況を見ながら、必要に応じて実施日の拡大を図りつつ、事業内容の充実に努めます。また、従来の保育士による育児相談を強化するため、関係部署と連携し、相談支援体制の充実に努めます。</p> <p>【数値目標】 年間利用世帯数 4,700組 利用可能者数 480人(月当たり) (20人/日×週6日×4週間)</p>	<p>ぐっぴいは火・水・木・金・土曜にふれあいの里で、おでかけぐっぴいは水曜に遠賀町中央公民館で開催しました。</p> <p>平成30年度 ぐっぴい利用実績 ・利用世帯数 1,965世帯/年 ・利用者数 369人/月</p>	○	→	→	→		健康こども課 (健康対策係) (子育て支援係)
②わんぱく教室	<p>【現状】 毎月1回、コミュニティセンターで行っています。また、平日参加できない父親たちの参加を促すため、年数回は日曜祝日に開催しています。</p> <p>【課題】 子育ての不安やストレス解消のため、今後も、PRに務めていく必要があります。</p>	<p>今後も毎月1回実施し、保護者の育児不安・ストレスの解消・軽減に努めるとともに、予防接種等の最新情報の提供も行っていきます。また、日曜祝日開催も継続し父親の育児参加を促します。</p> <p>【評価指標と数値目標】 わんぱく教室の年間利用者数 650人</p>	<p>日曜・祝日で3回開催し、父親や兄弟、家族ぐるみでの参加も増えています。</p> <p>【平成30年度の利用者数】 154組、382人の参加者がありました。 今後は、乳幼児健診等で事業の案内を配布し、周知を充実していきます。</p>	○	→	→	→		健康こども課 (健康対策係)

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課
				27	28	29	30	31	
2 子育てを通じた親としての成長を支えます									
③すくすくひろば	<p>【現状】 毎月1回、中央公民館で行っています。参加者増加に伴い助産師を1人増加し、隔月であった栄養相談を毎月実施するなど、事業内容の充実を図っています。</p> <p>【課題】 参加者が多い月は混雑する時もあり、落ち着いた雰囲気での相談しやすいように、流れやスタッフ配置を検討していく必要があります。</p>	<p>今後も保護者の要望に基づき、育児不安の解消に努め、落ち着いた気持ちで子育てに取り組めるよう、事業を継続して実施します。</p> <p>【評価指標と数値目標】 年間述べ参加者数 360組</p>	<p>毎月1回、中央公民館で実施しています。年々参加者も増えており、栄養士を2人から3人体制に増やし、離乳食などの悩みの解消、健診後のフォローの場にもなっています。</p> <p>平成30年度参加者数 実 94組 延 289組</p>	○	→	→	→		健康こども課 (健康対策係)
④教育相談	<p>【現状】 中学校にスクールカウンセラー、遠賀町教育委員会に教育相談員・教育指導員を配置し相談を受け付けています。また、学校ごとに生活アンケートを実施し、いじめの未然防止に努めています。さらに町内の小学校教諭による小中連携生徒指導部会を設置しています。</p> <p>【課題】 中学校だけでなく、小学校においてもスクールカウンセラー等の継続した配置が必要です。</p>	<p>今後も、スクールカウンセラーと教育相談員・指導員を配置し、巡回相談を活用しながら、悩みのある児童・生徒や保護者などが相談を受けられるように努めます。</p>	<p>教育委員会に教育相談員・指導主事2名を配置し、スクールカウンセラーを中学校に各1名配置しています。さらにスクールソーシャルワーカーも1名配置し、相談体制の充実を図りました。</p>	○	→	→	→		学校教育課 (学校教育係)

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課
				27	28	29	30	31	
2 子育てを通じた親としての成長を支えます									
(3) 家庭の状況に応じた子育て支援									
①子育てに伴う経済的負担の軽減	<p>【現状】 子ども医療、重度障害者医療、ひとり親家庭等医療費助成として助成の拡大を行い、中学3年生までの入院・通院の自己負担を無料としています。</p> <p>【課題】 今後、たとえば18歳までの外来の自己負担の無料化を行う等、年齢の引上げを検討します。</p>	<p>子どもの医療の自己負担について、自治体間のばらつきの解消を県に求めていくとともに、医療費助成の拡大については、近隣市町村の状況等も考慮し、検討していきます。新制度における保育料金については、従来までの国基準による保育料算定基準を軽減した算定基準を設けるとともに、利用者の多い中間所得者層の負担軽減を図ります。</p>	<p>平成28年10月より助成内容を拡大し、中学3年生までの入院・外来時の自己負担の無料化(所得制限なし)を行っており、子育て世帯への経済的支援を図っています。</p> <p>保育施設等利用者の保育料については、国基準額の改定に伴い、平成29年度4月から低所得世帯に対して、継続して負担軽減を図っています。</p>	○	→	→	→		健康こども課 (国保年金係) (子育て支援係)
②ひとり親家庭の自立支援	<p>【現状】 児童扶養手当支給、ひとり親家庭等医療費助成事業、母子家庭等日常生活支援事業を実施しています。</p> <p>【課題】 ひとり親等日常生活支援事業については、利用者数が少ないため、さらなる周知が必要です。また、委託先が社会福祉法人のみのため、今後利用者の増加が見込まれる場合委託先を増やす必要があります。</p>	<p>ひとり親等日常生活支援事業については、今後も広報等を通して対象者へ周知を図り、母子家庭等の自立促進につなげていけるよう努めます。</p>	<p>毎年度、利用世帯数はあまり増加していないため今後も対象者への周知を図ります。</p> <p>&lt;実績&gt; 利用者延人数 利用者世帯数 平成30年度 111人 1世帯</p>	○	→	→	→		健康こども課 (子育て支援係)

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課
				27	28	29	30	31	
2 子育てを通じた親としての成長を支えます									
①遠賀町ひと・人応援団「どし」による子育て支援	<p>【現状】 「ほっと・HOT子育て講座」や「男・女セミナー」の中での子育てに関する講座、また託児ボランティアによる託児を行っています。</p> <p>【課題】 子育て世代が積極的に参加してもらえるような講座内容の工夫や、託児ボランティア会員の拡充が必要です。</p>	<p>「ほっと・HOT子育て講座」は、開催曜日や時間帯なども考慮し、講師とより近い交流や学習ができる講座を実施するなどにより、参加者の増加に努めます。</p> <p>「託児ボランティア」では、託児ボランティア間の情報の共有化を図るため情報交換会の開催や、託児技術の向上を図るためスキルアップ学習会を行いながら、託児ボランティアによる託児を継続していきます。</p>	<p>「男・女セミナー」は、町との共催事業で6講座、受講延べ人数242人、「託児ボランティア」は、年間託児依頼数66回、依頼人数165人、ボランティア数35人でした。</p> <p>ボランティア情報交換会では、ボランティア間の情報共有を図ると同時に、託児依頼者とボランティアが円滑に託児を行えるよう情報交換を行いました。</p>	○	→	→	→	福祉課 (福祉人権係)  生涯学習課 (社会教育係)	
②公民館を中心とした世代間交流	<p>【現状】 子ども育成会を中心とした行事の開催、ごみ拾いボランティア活動、グラウンドゴルフなどが行われています。</p> <p>【課題】 若年層の参加者を増やすことが必要です。</p>	<p>地区住民に親しまれる公民館活動を推進するとともに、地区の子ども達が参加したくなる事業の情報提供や助言を行い、地区活動を支援していきます。</p>	<p>各地区の公民館長に公民館先進地視察(佐賀県武雄市)や福岡県公民館大会(飯塚市コスモスコモン)、福岡県公民館実践交流会(宗像市宗像ユリックス)に参加していただき、地域の魅力ある取り組みについての情報提供を行いました。</p> <p>子ども育成会への活動補助金を継続するとともに、地域での子ども育成会の活動の活発化に資するよう、役員を対象に研修会を行いました。</p> <p>世代間交流につながるようにコミュニティ備品の貸し出しを行いました。</p> <p>地域・団体への貸出件数 平成30年度 82件</p>	○	→	→	→	生涯学習課 (スポーツ文化係)	

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課
				27	28	29	30	31	
2 子育てを通した親としての成長を支えます									
	③子育てマイスター	<p>【現状】 福岡県が実施している「ふくおか子育てマイスター制度」登録者が、託児や保育施設等での保育補助などを行っています。</p> <p>【課題】 子育てマイスターの登録者が少ないため、制度の周知を図る必要があります。</p>	<p>「ふくおか子育てマイスター制度」について広報等で周知し、登録者の増加につなげます。</p> <p>また、マイスターの活躍する場として、行政や関係機関(保育園、学童保育クラブ等)に制度の内容を周知し、子育てマイスターの活用につなげます。</p>	<p>平成30年度末現在、町内の子育てマイスター登録者は16人となっています。引き続き、制度の周知を図っていきます。</p>	○	→	→	→	健康こども課 (子育て支援係)

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課	
				●(検討) →(継続)	○(実施)	◎(完了)				
				27	28	29	30	31		
3 子どもと子育てにやさしい環境をつくります										
(1) 子育てと仕事の両立ができる環境づくり										
①ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	<p><b>【現状】</b> 「どし」の「男・女セミナー」の講座の中でワーク・ライフ・バランスの普及啓発を行っています。また町内には、福岡県が推進する「子育て応援宣言企業」や「子育て応援の店」の登録があり、さらに平成24年11月からは「子育て応援パスポート」の取り組みも開始しています。</p> <p><b>【課題】</b> ワーク・ライフ・バランスの普及に至っていないため、さらなる周知・啓発が必要です。</p>	<p>ワーク・ライフ・バランスについての意識づくりの講座や研修を継続的に実施するとともに、仕事と育児が両立しうる雇用環境づくりに対する理解・協力を求めています。</p> <p>また、男女共同参画の出前講座を、平成27年度～平成30年度にかけて全地区で実施します。</p> <p>「子育て応援宣言企業」「子育て応援の店」「子育て応援パスポート」について町内事業所への啓発に努め、登録事業所・店舗の増加を図るとともに、「子育て応援パスポート」のPRに努め、パスポート発行の促進を図ります。</p>	<p>最も身近な暮らしの場である地域に男女共同参画の意識が根付いていくよう出前講座(実施地区:尾崎区、別府区、中央区、緑ヶ丘区、広渡区、上別府区、今古賀区、木守区参加延べ人数:185名)を実施しました。男性はもとより、あらゆる人が共感できる講座内容に努め、男女共同参画の意識の浸透を図りました。</p> <p>子育て期の男性とその子どもを対象とした、男女共同参画セミナー「お父さんと遊ぼう! ニュースポーツを楽しむ」(12組32名参加)、「もうすぐクリスマスパパとこどものクッキング」(6組14名参加)を実施し、男性の家事、育児への参画を促進しました。</p> <p>子育て応援の店等のチラシについて、窓口を設置し、住民の方へ周知を行いました。</p>	○	→	→	→			福祉課 (福祉人権係)  健康こども課 (子育て支援係)
②多様なニーズに対応した保育サービスの提供	<p><b>【現状】</b> 通常保育のほか一時保育、病児病後児保育、ショートステイ・トワイライトステイ事業を実施しています。</p> <p><b>【課題】</b> 近年、ショートステイ利用者がいないため、制度の周知を図る必要があります。</p>	<p>一時保育、病児病後時保育など事業の周知を図り、利用者が状況に応じて利用できるよう努めます。</p> <p><b>【数値目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートステイ 55人</li> <li>・病児保育 174人</li> <li>・一時保育(保育園) 3,000人</li> <li>・一時保育(幼稚園) 7,680人</li> </ul>	<p>一時保育利用者、病児病後時保育利用者とともに、年により利用者の数に増減があり、平成30年度に関しては病児病後時保育利用者が増えていました。</p> <p>(平成30年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートステイ延人数 0人</li> <li>・病児・病後児利用者延人数68人</li> <li>・一時保育年間利用人数 (保育園) 遠賀川 153人、南部 252人、山びこ 153人 (幼稚園) 遠賀中央幼稚園 3,139人</li> </ul>	○	→	→	→			健康こども課 (子育て支援係)



## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課	
				●(検討)・○(実施) →(継続)・◎(完了)						
				27	28	29	30	31		
3 子どもと子育てにやさしい環境をつくります										
(2) 子どもの居場所づくり										
①アンビシャス広場	<p>【現況】 田園南区で、水曜日と金曜日の週2日、田園アンビシャス広場を実施しています。</p> <p>【課題】 県の補助事業として活動していますが、補助金以外の町としての支援等を検討していく必要があります。</p>	<p>今後も、地区の活動が継続できるよう、情報提供等の継続的な支援を行います。</p>	<p>田園アンビシャス広場より、研修のためのマイクロバスの使用相談を受け、利用についての支援を行いました。 また、町民体育館利用料の支援(10割減免)も行っています。</p>		●	○	→	→		生涯学習課 (社会教育係)
②公園の整備	<p>【現況】 施設の老朽化が進んでいるため、毎年度定期的に点検を行い事故防止に努めています。また、地域住民と協力して公園の美化にも努めています。</p> <p>【課題】 少子高齢化に伴い、公園の維持管理を地域住民の協力によって行っていますが、年々厳しくなっています。 また、施設の老朽化については、安全性の確認と再整備の検討が必要となっています。</p>	<p>公園の施設点検を強化し、安全性確保のため緊急性の高いものから修繕等を行うなど、今後も安全で安心して利用できる公園管理に努めます。</p>	<p>施設点検により見つかった損傷箇所の修繕や、老朽化による破損箇所等の補修を行い、施設の安全管理に努めました。</p> <p>平成30年度実績：町内公園16箇所の17施設について修繕を実施。利用者が多く遊具等施設を有する24公園の健全度調査を行い、計画的な再整備を目的とする公園施設長寿命化計画を策定。</p>		○	→	→	→		建設課 (整備係)

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課	
				●(検討)・○(実施) →(継続)・◎(完了)	27	28	29	30		31
<b>3 子どもと子育てにやさしい環境をつくります</b>										
③学童保育	<p><b>【現状】</b> 3つの小学校でそれぞれ実施していますが、利用者の増加に伴い、余裕教室を活用した分割運営を行っています。</p> <p><b>【課題】</b> 今後も、利用者は現状の多いまま推移すると予想されるため、学童施設の増設を含んだ整備の検討や指導員の育成等が必要です。</p>	<p>利用状況・意向を把握しながら、待機児童を出さないよう、必要に応じて学童施設の整備を検討していきます。また、それに必要となる指導員の育成にも努め、関係機関と指導者間で定期的に情報交換を行うなど、学童保育の充実を図ります。</p> <p><b>【数値目標】</b> 学童定員 299人</p>	<p>平成29年度に行った施設整備等により、学童保育を行う環境については、ほぼ整備されており、その中で、関係者と情報交換を密に行いながら運営を行っています。 (平成30年度3月末 3学童合計利用者数) 305人</p>	●	○	◎	→	→	→	健康こども課 (子育て支援係)
④地域子ども教室	<p><b>【現状】</b> 月1～2回「うきうきスポーツ広場」を土曜日の午前中に実施しています。また、遠賀町総合地域型スポーツクラブ「おんがみんスポクラブ」への活動にも参加しています。</p> <p><b>【課題】</b> 教室や広場の運営を担う方の発掘が必要です。</p>	<p>他の小学校区でも地域子ども教室を開設しようという動きがあれば情報提供を行い、子どもたちのスポーツや文化活動等を支援していきます。</p>	<p>遠賀町総合地域型スポーツクラブ「おんがみんスポクラブ」では「キッズダンス教室」が小学生女子に人気ですが、他の教室の会員増にも努めました。 平成30年度3月末 小学生会員数 31名</p>	○	→	→	→	→	→	生涯学習課 (社会教育係) (スポーツ文化係)

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課	
				●(検討) →(継続)	○(実施)	◎(完了)	27	28		29
3 子どもと子育てにやさしい環境をつくります										
(3)安全・安心・快適な生活環境づくり										
①バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	<p>【現状】 「遠賀町ひとにやさしい福祉のまちづくり整備基本計画」や「遠賀町交通バリアフリー基本構想」を策定し、これらの計画を基に町内の道路、公園や構築物のバリアフリー化など施設整備を進めています。</p> <p>【課題】 高齢者や障害者だけでなく、子どもや妊産婦などの視点からも公共施設等の点検を行い、バリアフリー化を推進していく必要があります。</p>	<p>公共施設において、おむつ替えスペースが整備された多目的トイレや授乳コーナーの設置を検討します。また、幅の広い歩道の整備や段差の解消等、安全で快適な歩行空間の確保を図ります。</p>	<p>平成29年3月に開設した遠賀町起業支援施設PIPIITでは、子育て中のお母さん方が子連れでも利用できるよう、託児場所・キッズルームとしても利用できる「ちゃんこ部屋」、おむつ交換台を設置した授乳スペースも整備しています。</p> <p>平成30年度の子育て中のお母さんの利用実績は、町内外あわせて延べ62名、子ども39名となっています。</p> <p>期日前投票所としても利用している庁舎車庫棟多目的室や周辺駐車場について、地盤沈下等により段差が生じていたため、高齢・障がい者や妊産婦・子ども連れの方・ベビーカー利用者などすべての方が利用しやすいよう整備工事を実施しました。</p> <p>また、庁舎玄関前の思いやり駐車場のマークが劣化し、見えづらくなっていたため補修工事を行いました。</p>	○	→	→	→	→	→	全庁的取り組み
②交通安全対策	<p>【現状】 安全意識の啓発活動とともに、地元からの要望箇所に区画線、カーブミラー等を設置するなど、通学路の安全対策を重点的に推進しています。</p> <p>【課題】 ソフト・ハードの両面から交通安全対策に努める必要があります。</p>	<p>平成26年3月に策定した通学路交通安全プログラムに基づき、地域住民やPTAからの要望箇所や交通事故多発箇所について折尾警察署と協議を行い、交通安全施設の設置等による対策を実施します。また、交通安全週間等には広報車による巡回広報を実施し、啓発活動に努めていきます。</p>	<p>地域住民やPTAからの要望箇所について、交通安全施設を設置し、通学路等の安全対策を行いました。交通安全週間や毎月1日(交通安全の日)には折尾交通安全協会とともに、桃太郎旗の設置や広報車による巡回広報を行うなどの啓発活動に努めました。</p> <p>平成30年度実績:尾崎地内の通学路に延長744mのグリーンゾーン(カラー舗装)の設置、町内6箇所にカーブミラーの設置。</p>	○	→	→	→	→	→	建設課 (維持係)

## 遠賀町子ども・子育て支援事業計画

基本目標・重点課題・具体的施策	現状と課題	今後の取り組み (評価指標と数値目標)	H30年度進捗状況	年 度					主管課		
				●(検討)・○(実施) →(継続)・◎(完了)							
				27	28	29	30	31			
<b>3 子どもと子育てにやさしい環境をつくります</b>											
③犯罪防止対策	<p><b>【現状】</b> 「遠賀町あるき隊」の実施や「子ども110番の家」の看板設置、小学校ごとの「見守り隊」を結成し、登下校時の安全指導を行っています。町では、青色回転灯装備車を4台保有し、町内のパトロールを実施しています。また「防災メール・まもるくん」で不審者情報を配信しています。</p> <p><b>【課題】</b> インターネットや携帯電話を利用した犯罪が増えており、それに対する対策が必要です。</p>	<p>子どもが被害者となる犯罪の撲滅を目指し、自治防犯組合、警察、学校、家庭などと協力を図りながら、「遠賀町あるき隊」「子ども110番の家」「見守り隊」の活動を継続するとともに、不審者情報等、犯罪に関する情報の提供と防犯意識の啓発に努めます。また、子どもの情報リテラシー向上に向けた取り組みの展開を図ります。</p>	<p>土曜授業を活用し、保護者も参加するスマホ等に関する講演会を各小中学校行いました。各小学校で年1回「子ども110番の家」の確認を行いました。各小学校で年1回不審者侵入対応避難訓練を行いました。協働による防犯活動の推進を図るため、町が所有する青色回転灯を装備した公用車を公務に支障のない範囲内で防犯ボランティア団体に貸し出しする取り組みを平成28年度から継続しています。青パトを活用してもらい、安全安心のまちづくりにご協力をいただいています。長期休暇中の地域安全パトロールを関係団体や地域のボランティアの方々と合同で計7回実施し、犯罪の未然防止に努めました。(雨天により、1回中止) 町内で不審者が出没した際には、町青少年補導員や折尾警察署少年補導員に電話またはFAXで連絡し、巡回等を依頼しています。また、社会教育係職員も青パトで巡回を行っています。</p>	○ (一部)	→	→	→				<p>まちづくり課 (協働推進係)</p> <p>学校教育課 (学校教育係)</p> <p>生涯学習課 (社会教育係)</p>
④防災対策	<p><b>【現状】</b> 「遠賀町地域防災計画」、防災ハンドブックを作成しています。また自主防災組織が訓練などを行う際の補助制度創設や、避難支援個別計画を策定しています。さらに防災行政無線の放送について、自動録音装置の整備とテレドームの導入、遠賀川河川事務所との専用回線の整備など、災害時の情報収集・伝達手段の強化に取り組んでいます。</p> <p><b>【課題】</b> 災害から身を守るための防災知識の更なる普及・啓発が課題です。</p>	<p>自主防災組織未設立の地区へ設立を働きかけるとともに、地域防災力の強化を図っていきます。また、町内の小中学校に防災に関する啓発サインを設置し、町内の避難場所や避難時の注意について、児童・生徒に啓発しています。</p>	<p>避難情報を的確に処理し、災害から身を守るための方法等についての意識を高めるため、平成30年度に町内一斉避難訓練を行いました。また、防災に関する出前講座を1回開催し、防災知識の普及・啓発に努めました。各小中学校で年2回(火災1回・地震1回)防災訓練を行いました。 第1回目の通学合宿で、遠賀町女性防火・防災クラブによる昭和28年の大水害についての紙芝居を行い、防災知識の普及啓発を行いました。12月に「災害弱者を受け入れた避難所運営～熊本学園大学・激動の45日間～」という演題で、人権講演会を開催しました。(来場者数約200名)人権週間では他に、人権週間パネル展(熊本学園大学避難所運営の取り組みについて)を催し、啓発に努めました。</p>	○	→	→	→			<p>総務課 (庶務係)</p> <p>生涯学習課 (社会教育係)</p> <p>学校教育課 (学校教育係)</p> <p>福祉課 (福祉人権係)</p>	